

荒尾駅前における R6年度社会実験調査結果について

令和6年11月23日（11時～15時）

1. 社会実験の目的及び仮説

目的

- ・荒尾駅西口駅前広場の一部を歩行者天国にして、市民ワークショップ、えきまち研究会で意見のあったオープンカフェや子供が遊ぶ広場、夕陽を眺めるなどの空間とすることにより、駅前で新たな活動を創出し、スマートタウン・新駅舎完成時に魅力ある駅前になるのでは。
- ・社会実験を通じて新たな活動創出の可能性、周辺交通に与える影響などを把握したい。
- ・“居心地よく使われ続ける荒尾駅前（将来像）の実現に向けた検討の推進”
(必要な要素 ⇒ ビジョンの共有（市民WS・えきまち研究会）・活動の創出・活動の仕組みづくり・施設整備)

仮説（確認したいこと）	評価指標	計測方法	要素
テーマA：交通への影響 ★仮説1：周辺の道路交通への影響（混雑が無いか）	車両混雑目視 苦情有無	従事者アンケート 出店者アンケート	活動の創出 施設整備
★仮説2：一般車両停車スペース削減可能性 K & Rエリアの位置確認	一般車苦情有無	従事者アンケート	施設整備
テーマB：にぎわいの創出 ★仮説3：来街者の滞在時間の増加	来場者滞在時間 来場者滞在時間	来場者アンケート 活動調査（目視）	
仮説4：広場空間の使われ方 「テイクアウトをテーブル・イスで飲食」「電車の待ち時間でワーク」「芝生広場で子どもが遊ぶ」「夕陽を眺める」など	活動数 広場で何をした？	活動調査（目視） 来場者アンケート	活動の創出 施設整備
仮説5：駅前でどのような活動をしたいか どのような施設・設備・コンテンツがほしいか	何をしたい？	投票調査	
★仮説6：歩行者広場の大きさ・形状	必要な大きさ・形状	来場者アンケート 振り返り会意見交換	施設整備
テーマC：イベントの継続実施			
仮説7：来街者が喜んでくれたか	よかったです？ 空間の良かった点	来場者アンケート 出店者アンケート	活動の仕組みづくり
★仮説8：今後の出店・関与の可能性 のあそびlabo活動の認知度 「シェアスペースでチャレンジショップ」	今後出店したい？ 出店料等条件は？ 企画段階関与は？	来場者アンケート 出店者アンケート 近隣店舗アンケート	活動の仕組みづくり
仮説9：運営方法の改善点	次回に向けた課題	振り返り会意見交換 従事者アンケート	活動の仕組みづくり

2. 社会実験の概要



駅西口で望まれる活動(仮)

- A.テイクアウトを
可動イスやテーブルで飲食
- B.電車の待ち時間でワーク
- C.シェアスペースでチャレンジショップ
- D.芝生の広場空間で子どもが遊べる
- E.コミュニティスペースで交流

社会実験の検証事項 ～確認したいこと～

- ①周辺道路交通への影響
- ②必要な送迎用駐車場数の確認
- ③来街者の滞在時間の増加
- ④歩行者広場の大きさ・形状
- ⑤駅周辺における今後の出店・関与の可能性

○R6年度社会実験

主催：荒尾市 調査支援：UR都市機構

○日時

11/23（土・祝） 9:00～16:00【交通規制時間】
同日 11:00～15:00【マルシェ開催時間】

○概要

えきまち研究会での活動イメージをもとに駅前広場のロータリーの一部を通行止めにして歩行者天国化し、駅前広場での過ごし方や活動、交通への影響などを検証しました。

○調査内容

アンケート調査、投票調査、行動調査、車両状況調査

○エリア



(参考) コミュニティスペース主催：荒尾市、のあそびlabo、JR九州
のあそびマルシェ主催：のあそびlabo

3. 調査の概要（アンケート調査）

来場者アンケート

荒尾駅前社会実験 来場者アンケート

ご来場ありがとうございます。

今後のまちづくりの検討のため、お手数ですがアンケートへのご協力をお願いいたします。

Q1. 年代をお選びください。※お連れさまの人数も含めてご記入ください。

~9歳()人 10代()人 20代()人 30代()人 40代()人
50代()人 60代()人 70代~()人

Q2. このイベントをどうやって知りましたか？

口チラシ 口荒尾市 HP 口荒尾市公式 Instagram(ぎゃんすき！あらおちゃん) 口広報あらお
口JR九州 HP 口新聞 口出店者から(SNS等) 口家族・知人から 口その他()

Q3. お住まいの地域をお選びください。

口万田小校区 口それ以外の荒尾市内 口大牟田市 口長洲町 口玉名市 口それ以外

Q4. 今日はどんな目的で駅前に来ましたか？

口のあそびマルシェ 口駅舎コミュニティスペース 口近隣店舗 口通勤・通学 口送迎
口散歩 口観光 口その他()

Q5. どのような交通手段で来ましたか？

口徒歩 口自転車 口車 口タクシー 口電車 口バス 口その他()

Q6. 普段、どのくらいの頻度で駅前を利用しますか？

口ほぼ毎日 口週に1~2回程度 口月に1~2回程度 口ほとんど利用しない

Q7. この場所で、どんな過ごし方をしましたか？【複数回答可】

口買い物 口飲食 口のあそび体験(焼きマシュマロなど) 口休憩 口送迎待ち
口(電車・バス・タクシー)待ち 口その他()

Q8. 今回は期間限定の社会実験として、通常よりも大きな駅前広場を設置しています。今回の駅前広場の大きさや形についてどう思いましたか？【複数回答可】

口ちょうど良い 口広すぎる 口狭すぎる 口安全 口危険 口その他()
⇒理由()

Q9. 普段と比べて、駅前で過ごす時間は増えましたか？

口増えた 口増えていない 口分からない(普段来ないから比較できないなど)

Q10. その他、今回のイベントについてご意見・ご感想を教えて下さい。【自由記述】

駅前で〇〇がしたい/〇〇がほしい/〇〇があつて良かった など

出店者アンケート

荒尾駅前社会実験 のあそびマルシェ出店者アンケート

今後のまちづくりの検討の参考とするため、率直なご意見・ご感想等をご回答願います。

提出確認のため出店者名を記載いただますが、集計上、特定されることはありません。

アンケートは、マルシェ当日中にUR都市機構 上り駅までご提出ください。

1. 出店者名 _____

2. 出店形態・コンテンツ

形態: キッチンカー テント 屋台
コンテンツ: 飲食販売 飲食以外の販売 展示 体験型イベント
その他()

3. 来客数、売上 ※可能な範囲で具体的な数値をご記入ください。

来客数()人 売上()円

4. 出店の感想・課題

①来客数や売上に対する所感を教えてください。

例:思つた以上の売り上げだった。

②安全面に関する課題(歩行者・車の通行で気になることなどがありましたか？)

あり(詳細:)
なし

③荒尾駅前で出店を本格的に行う場合の課題(必要な設備、管理運営体制などはありますか？)

あり(詳細:)
なし

④今後、荒尾駅前においてイベントを実施する場合、関わりたいですか？

口機会があれば出店したい(理由:)
口イベントの主催をしたい(理由:)
口イベントの運営・企画に関わりたい(理由:)
口機会があつても出店したくない(理由:)

5. その他、今回の社会実験・のあそびマルシェに関するご意見・ご感想等(自由記述)

3. 調査の概要（投票調査）

ペットボトルキャップを投票箱に入れる方法で調査を実施

日常編

駅前広場でどんなことをしてみたいですか？

駅前広場でどんなことをして過ごしたいですか？
ペットボトルのキャップを入れて投票してみよう！

A

イスやテーブルで飲食して
電車待ちを快適に過ごしたい

B

遊んだりおしゃべりして
過ごしたい

ご協力をお願いします！

トドメント編

駅前広場でどんなことをしてみたいですか？

駅前広場でどんなことをして過ごしたいですか？
ペットボトルのキャップを入れて投票してみよう！

A

季節ごとのイベントを
楽しみたい

B

屋外ビジョンで
パブリックビューイングを
楽しみたい

ご協力をお願いします！

3. 調査の概要（交通調査・アクティビティ調査）

●概要

(1)車両状況調査(駐停車台数を調査票に記入)

右表のJRの発車時刻に合わせて、プロローグ広場内に設置した「送迎用駐車場(8台分)」の駐車台数及び「臨時降車場所(駅広内)」の駐停車台数を計測し、調査票に記入する。

※カウントする時間が無い場合は写真撮影し、後日写真からカウントして計測することも可(画角は「[別紙3]撮影画角」を参照)。

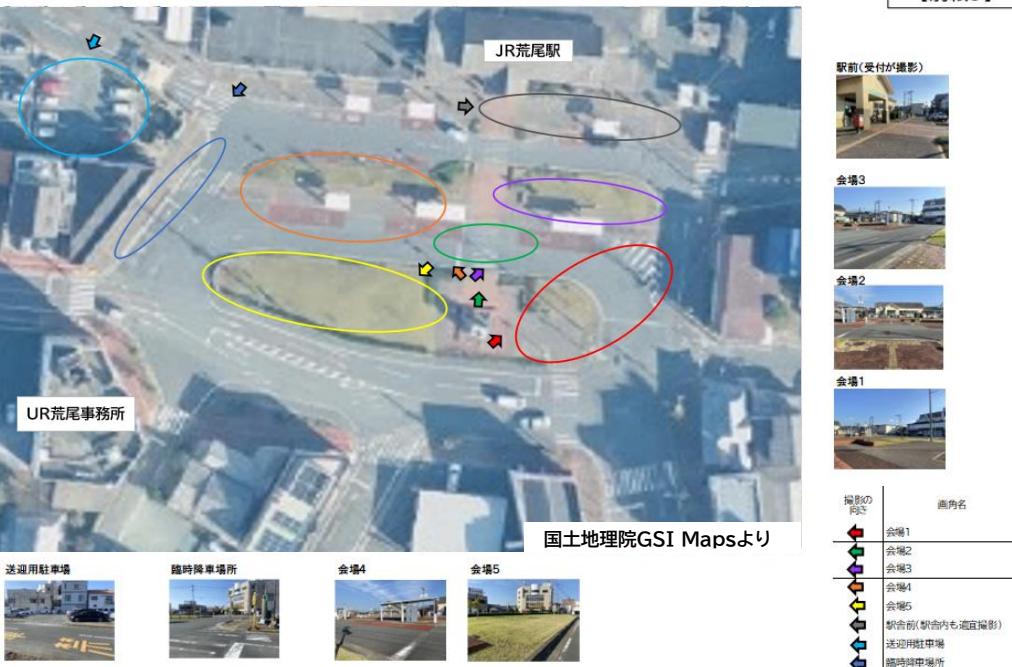
(2)アクティビティ調査…【別紙1】アクティビティ調査票

1時間に1回15分間、右表の時間帯において調査を実施。

- ①調査票に調査時間を記入
- ②指定の5箇所から会場の写真撮影(画角は「(別紙3)撮影画角」を参照)。
- ③②の箇所それぞれにおける調査票を記入(4段階で評価)
- ④観察メモの記入

※余裕があれば②の画角以外で印象に残った場面を撮影する。

撮影画角



	JR上り (博多方面)	JR下り (熊本方面)	調査活動目安
10時台	10:12	10:13	10:12 10:13 駐車場 10:15~10:30 行動 10:38 10:39 駐車場
	10:38	10:39	
11時台	11:00	11:26	11:00 駐車場 11:05~11:20 行動 11:26 11:32 11:37 駐車場
	11:32		
	11:37		
12時台	12:06	12:03	12:03 12:06 駐車場 12:10~11:25 行動 12:31 12:35 駐車場
	12:31		
	12:35		
13時台	13:02	13:03	13:02 13:03 駐車場 13:05~13:20 行動 13:32 13:39 駐車場
	13:32		
	13:38		
14時台	14:04	14:03	14:03 14:04 駐車場 14:10~14:25 行動 14:34 14:38 駐車場
	14:34		
	14:38		
15時台	15:06	15:03	15:03 15:06 駐車場 15:10~15:25 行動
	15:32	15:58	15:32 15:58 駐車場

【別紙1】

アクティビティ調査票[R6年度荒尾駅前社会実験]

回答欄				
活動項目	1. いない	2. 一人(もしくは一組)いる	3. 数人いる(10人以下)	4. たくさんいる(10人以上)
年代	回答欄			
飲食している	1	2	3	4
芝生広場で遊んでいる・おしゃべりしている	1	2	3	4
日陰のある所で過ごしている	1	2	3	4
写真を撮っている	1	2	3	4
立ち寄り・買い物のみ	1	2	3	4
【調査時間】	：	～	：	
【調査者】				
【会場範囲(1~5)】				

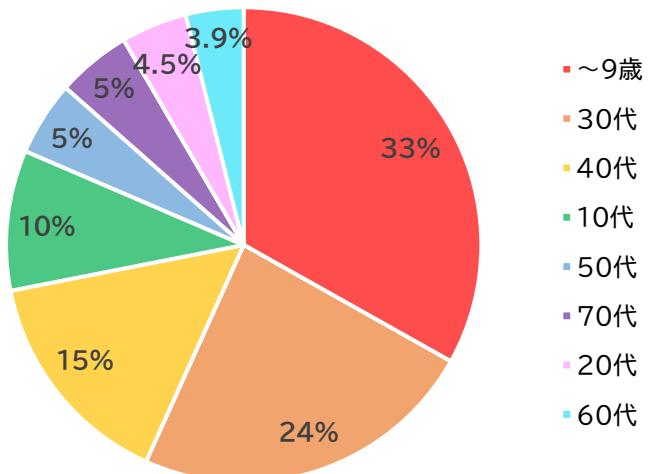
4. 当日の様子



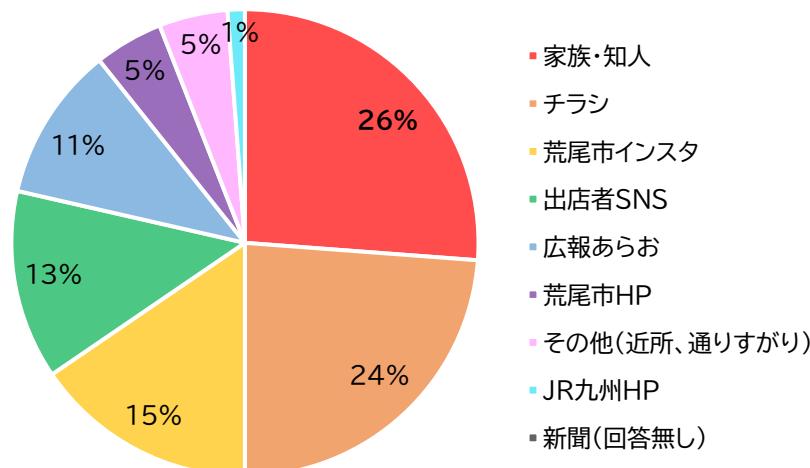
5. 調査結果（来場者アンケート）

来場者アンケートの回答数計:67組178人

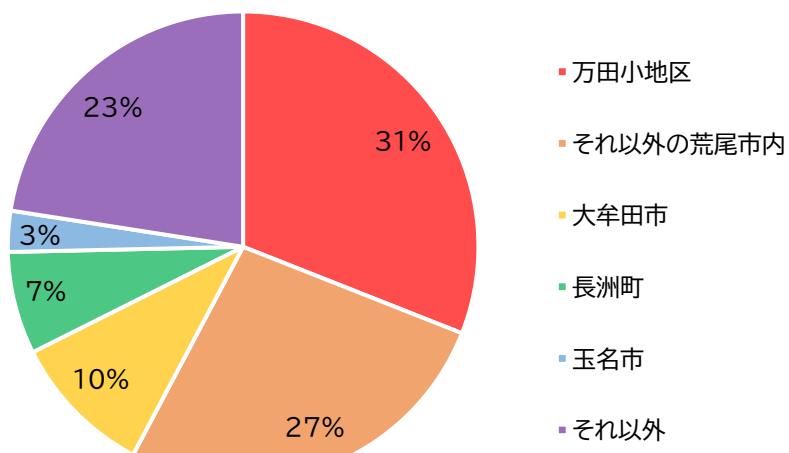
Q1. 年代を教えてください(お連れ様も含む)



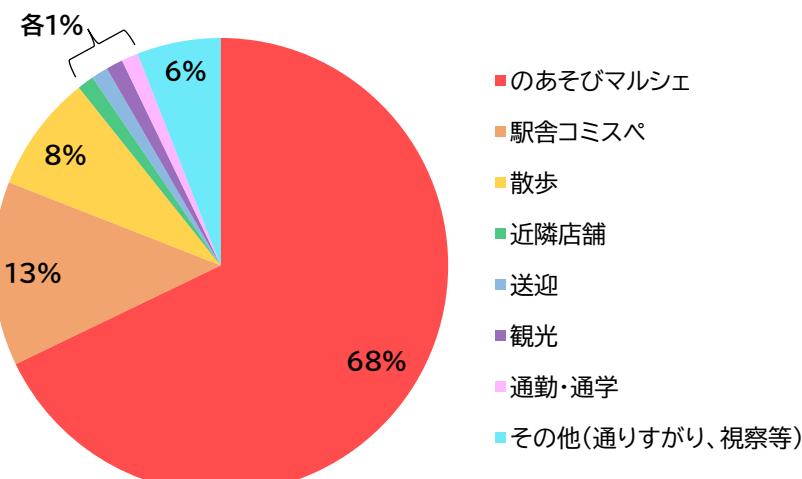
Q2. このイベントをどうやって知りましたか？



Q3. お住まいの地域はどこですか？

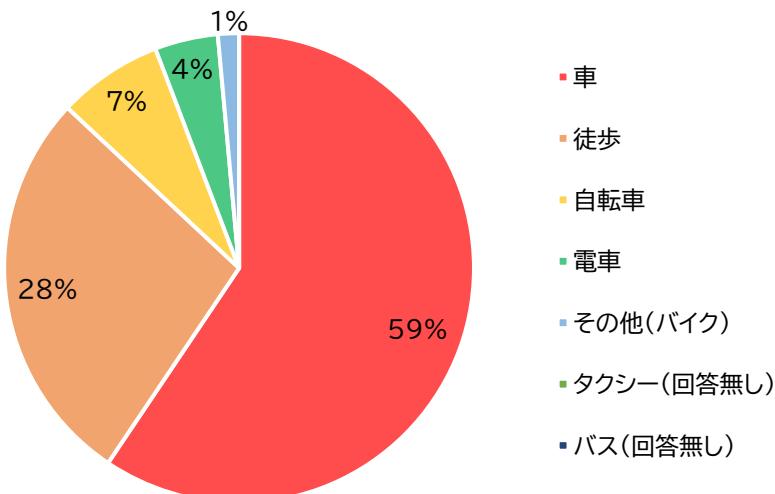


Q4. 今日はどんな目的で駅前に来ましたか？

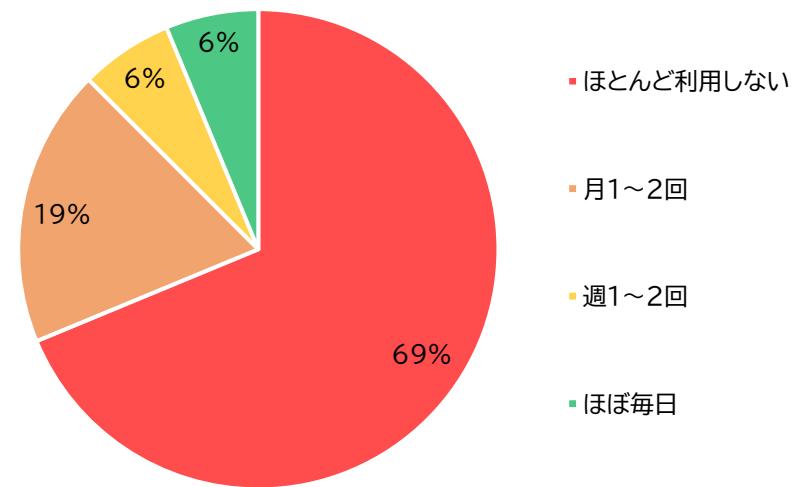


5. 調査結果（来場者アンケート）

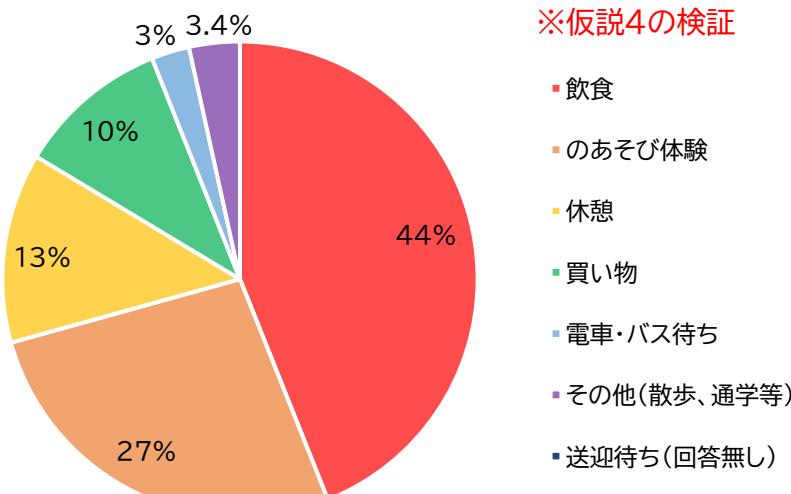
Q5. どのような交通手段で来ましたか？



Q6. 普段、どのくらいの頻度で駅前を利用しますか？



Q7. この場所で、どんな過ごし方をしましたか？



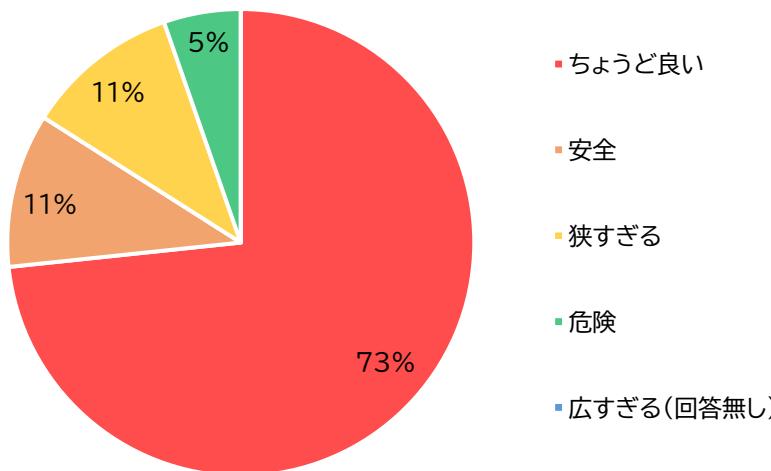
※仮説4の検証

- 飲食
- の遊び体験
- 休憩
- 買い物
- 電車・バス待ち
- その他(散歩、通学等)
- 送迎待ち(回答無し)

5. 調査結果（来場者アンケート）

Q8. 今回の駅前広場の大きさ、形はどうでしたか？

※仮説6,9の検証



【ちょうど良い or 安全と回答した理由】

- ・全体を見渡せる
- ・子供へも目が届きやすい
- ・未就学児にとってちょうど良い広さ
- ・子供が自由に遊べる
- ・広くて気持ちの良い場所
- ・芝生などが小さい子供にとって過ごしやすい空間だった
- ・ここでまつりすると落ち着く
- ・人が集まてもゆったり過ごせる
- ・前回よりも広くなっていて、芝生で過ごせるスペースもあってよかった
- ・マルシェ利用にはちょうど良いスケール。日常時はどんな感じか見てみたい

【狭すぎる or 危険と回答した理由】

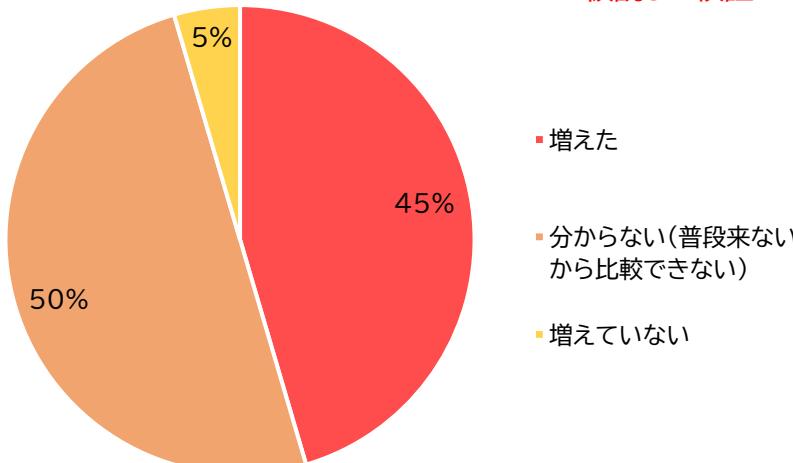
- ・もう少し大きくても良いのでは
- ・段差があり危険
- ・もう少しスペースを作り、屋台が増えると楽しく長く居れる
- ・車の動線が気になり、子供が心配

【その他意見】

- ・前よりのあそび体験が少ない
- ・人はそんなに居ないが、注文の提供が遅い

Q9. 普段と比べて、駅前で過ごす時間は増えましたか？

※仮説3の検証



5. 調査結果（来場者アンケート）

Q9. 自由記述

【今回のマルシェ・社会実験に対する意見(良かった点)】

- ・地域の人たちとまちづくりについて話し合う過程含めて素晴らしいと感じた。
- ・市民交流があつて良いことだった
- ・今回のような広場が日常的にあると過ごしやすいし来やすい
- ・今回は通りすがり(大牟田から熊本市内へ向かう途中だったが、おいしいコーヒーが飲めてほっとでき、楽しいひと時だった
- ・のんびりできて、おいしいものを食べられて楽しい時間を過ごせた
- ・子供が体験できるものがあり楽しかった
- ・ゆっくり座れるスペースがあり良かった
- ・子供が動き回っても安心して見渡せる空間があり良かった
- ・雰囲気や規模感がちょうどよかったです
- ・受験勉強の息抜きに立ち寄り、いい感じに落ちつけた
- ・地域の活性化の為、駅前でイベントをするのはとても良い
- ・駅前はさびしく感じていたので、このようなイベントがあると良い。人の集まり方もわちゃわちゃし過ぎずよかったです。
- ・こういうイベントがあった方が楽しいし新しい発見があって良い
- ・風があり寒かったので、テントの中の湯たんぽは心地よかったです
- ・駅活用のハード、ソフト両面の取り組みとも参考になった。社会実験の細かな工夫も勉強になった。今後の展開が楽しみ

【今回のマルシェ・社会実験に対する意見(要望・改善点)】

- ・子どもが100円で遊べるくじ引きなどがあればもっと賑やかになりそう
- ・キッチンカーがもう少しあつた方が良かった
- ・イベントのPR不足。何を目的としているのか?マルシェとは何か?荒尾の放送を使ってみては
- ・前のあそび体験は良かったが、今回のやり方はまた来たいと思わない。
- ・トイレが分かりにくく困った

【今後の駅広に対する意見】

- ・踏切を回らないと駅の反対側に出られない(バイク、車含む)
- ・お店が増えた方がいい。
- ・駅前にコンビニがほしい
- ・オーガニックを取り扱ってほしい
- ・平日は通学、通勤で人がいるが駅でお金を使うことがない。道の駅に向けてお店が増えると嬉しい。自然と週末も人が増えるのではないか
- ・今後も色々なマルシェやコラボカフェを開催してほしい
- ・月に一回ほど開催されると駅前も賑やかになる
- ・荒尾駅が楽しくなるように今後もいろんなイベントをしてほしい
- ・クリスマスマーケットなど季節のイベントがあるとおもしろい
- ・フリーマーケットや青空市場、お酒のイベントがあるといい
- ・犬も一緒に来れるといい
- ・子ども向けの遊べる所が欲しい
- ・小規模でも良いので、遊具があれば子連れの利用、滞在の時間が増える思う
- ・ふと行きたいくなる場所になってほしい。「そうだ、スタバに行こう」のテンションで、荒尾駅に行こうとなる、そんな未来を描けるイベントが良い。
- ・年配としては来にくい。子どもの興味のあるものも少ない。

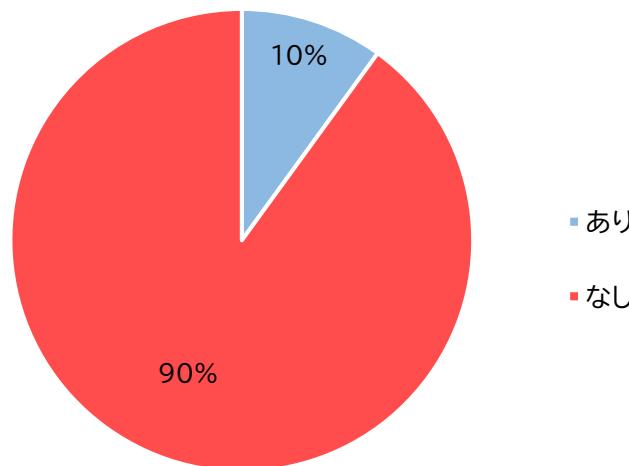
6. 調査結果（出店者アンケート：10者）

来客数や売り上げに対する所感 ※仮説7の検証

- ・思った以上の売り上げだった
- ・思ったよりも来客があり準備した数では足りなかった。それだけここが賑わってきたと感じた
- ・予定通りの来客数・売上。もっと知名度のある出店者がいれば売上が良くなるのでは

- ・思ったよりも若干少なかった
- ・思ったより少なかった
- ・県内各地で様々なイベントが行われていたためか、集客・売上がマイナスだった
- ・昨年出店した時よりも落ち着いていた（来客数、売上ともに）
- ・飲食スペース、出店者数に対してあそびの部分が少ない印象。薪割り、焚火、マシュマロに加えてあと一つ二つ目玉があれば（例）モルック大会等

安全面に関する課題 ※仮説6の検証

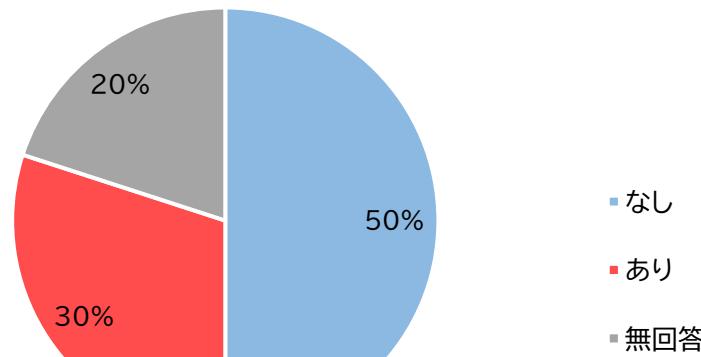


【課題ありと回答した理由】

- ・路上バスの通りがあり、少し危ないと感じた

6. 調査結果（出店者アンケート：10者）

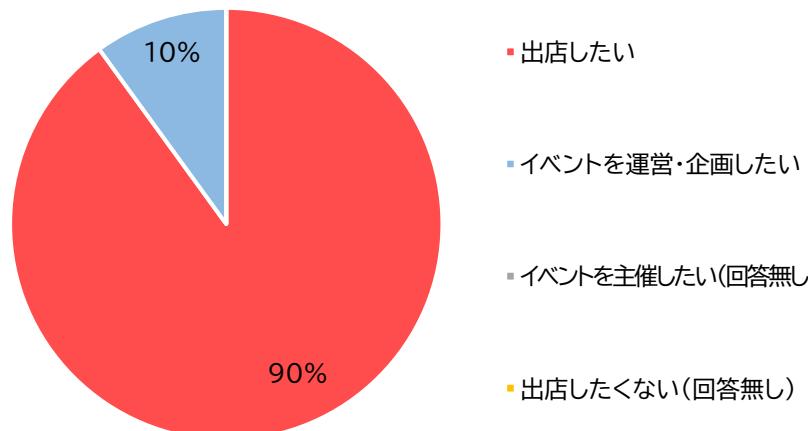
駅前で出店を本格的にする場合の課題 ※仮説9の検証



【課題なしと回答した理由】
・電気を借りることができて良かった

【課題ありと回答した理由】
・駐車場が遠かった
・イルミネーションなど飾り、ライティング
・風対策でテントの「横まく」が欲しかった

駅前におけるイベント実施時の関わり方 ※仮説8の検証



【出店したいと回答した理由】
・雰囲気が良く、イベントの中身がしっかりしていて集客を見込める
・地元なので盛り上げたい
・色々な方に来てもらえる
・ちょうどいい大きさのイベント
・知った顔に会える素敵な場
・活性化にうちも協力したい

【イベントを運営・企画したいと回答した理由】
・いつかは自分もそういう事に携われればと思っている

自由記述

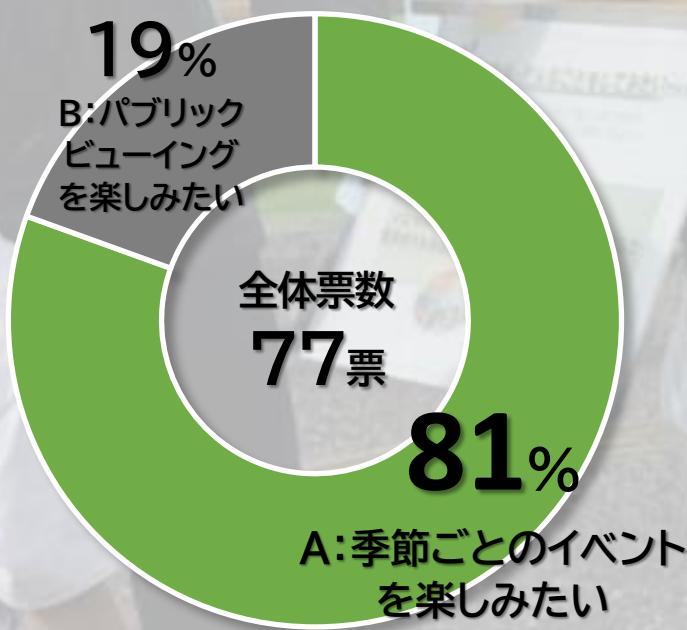
・前回マルシェはハンドメイドの販売もあったので今回よりも集客していたと思うが、今回は今回で1会場でマルシェを味わえるようにしてあってイベントのサイズ感にぴったりの内容だった

・告知を早めする
・もう少し店舗数を増やす様にしたらいいかも
・スタッフ用第2駐車場が遠かった

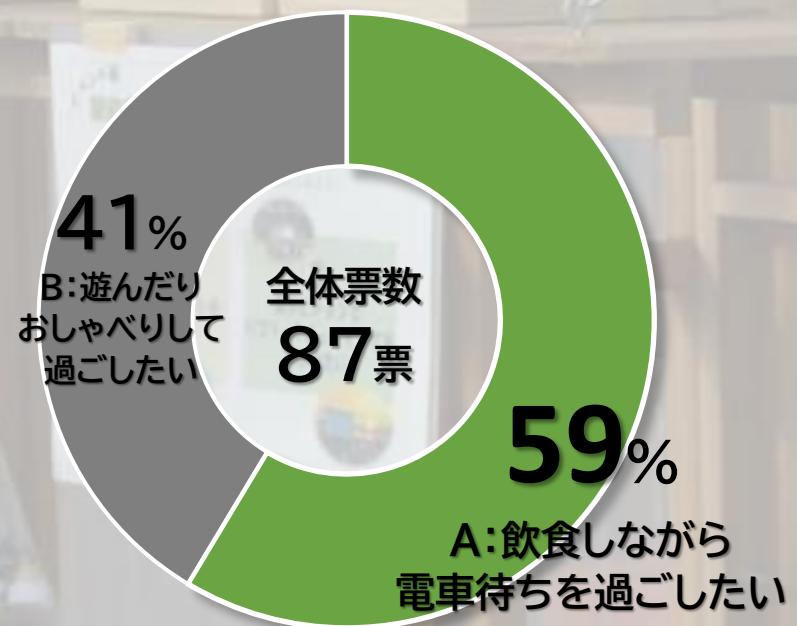
7. 調査結果（投票調査：投票総数164）

※仮説5の検証

駅前広場でどんなイベントが
あってほしいですか？

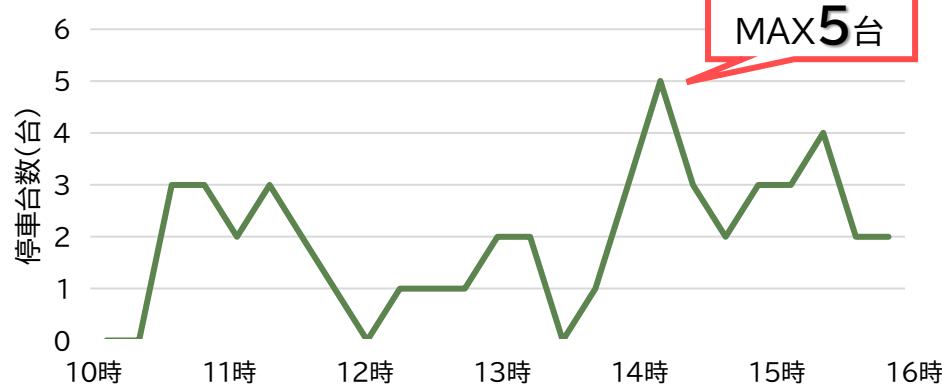


日常的に駅前広場を
どう使いたいですか？



8. 調査結果（車両状況調査）※仮説1, 2の検証

仮設送迎用駐車場
(プロローグ広場駐車場内に設置)



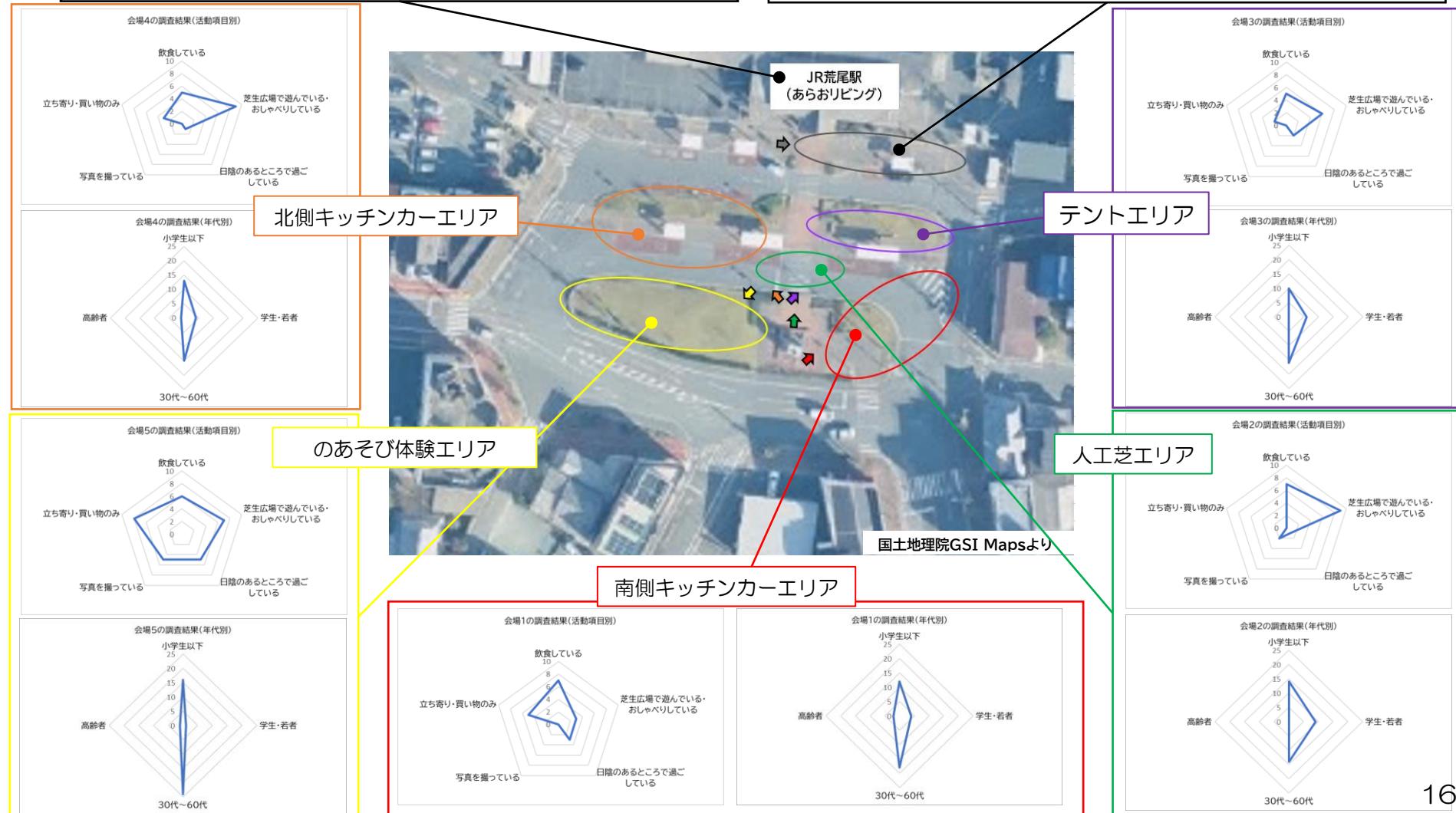
駐車場が満車になることはなく、送迎の方も安全に利用いただけました。

仮設臨時降車場所
(プロローグ広場入口付近)



臨時降車場所付近の道路が混雑することはありませんでした。

9. 調査結果（アクティビティ調査11時～15時の集計）※仮説4,10の検証



9. 調査結果（アクティビティ調査 駅前広場）

仮設設置したイス・テーブル・芝生広場において、色々な活動や使い方を確認することができました。



9. 調査結果（アクティビティ調査 あらおりビング）

同日オープンしたあらおりビングにおいても、色々な活動や使い方を確認することができました。



10. 仮説に対する検証

仮説（確認したいこと）

テーマA：交通への影響	評価指標	計測方法	備考
★仮説1：周辺の道路交通への影響（混雑が無いか）	車両混雑目視 苦情有無	従事者アンケート 出店者アンケート	
★仮説2：一般車両停車スペース削減可能性 K&Rエリアの位置確認	一般車苦情有無	従事者アンケート	

評価指標（調査結果）

○車両混雑目視	車両が混雑している状況は見られなかった
○苦情有無	警察・交通事業者（バス・タクシー）・民間駐車場へのヒアリングの結果、特段苦情の報告は無いとのこと
○一般車苦情有無	交通誘導従事者・アンケート等からも苦情は無いとの結果

検証・分析

仮説1

- 荒尾駅前において、車両の通行規制を行い車両混雑なくイベントが開催できた
⇒同様な交通処理でのイベントの開催可能性が今後も見込める

仮説2

- 今回の規模のイベントであれば、駐停車スペースは5台程度で適當
- （K&Rエリア）一般車の乗降場所が駅前でなくても運用することができた

10. 仮説に対する検証

仮説（確認したいこと）

テーマB：にぎわいの創出	評価指標	計測方法	備考
★仮説3：来街者の滞在時間の増加	来街者滞在時間 来街者滞在時間	来街者アンケート 活動調査（目視）	
仮説4：広場空間の使われ方 「テイクアウトをテーブル・イスで飲食」 「電車の待ち時間でワーク」「芝生広場で子どもが遊ぶ」 「夕陽を眺める」など	活動数 広場で何をした？	活動調査（目視） 来街者アンケート	1時間おき 程度

評価指標（調査結果）

○来街者滞在時間	普段駅に来ている人の9割がイベントにより滞在時間が増加したとの回答
○活動数	飲食、おしゃべり、体験、丸太を使って遊ぶ（子供）等の様子が見られた
○広場でどう過ごしたか	飲食、の遊び体験、休憩、買い物、電車・バス待ち等のアンケート回答



検証・分析

仮説3

- ・ コミュニティースペースやマルシェ等の“にぎわいの創出”により、荒尾駅前において、滞在時間の増加が期待できる

仮説4

- ・ イス・テーブル・丸太を設置したことでの駅前での活動数が増えた。（飲食、おしゃべり、丸太を使って遊ぶ等）

10. 仮説に対する検証

仮説（確認したいこと）

テーマB：にぎわいの創出	評価指標	計測方法	備考
仮説5：駅前でどのような活動をしたいか どのような施設・設備・コンテンツがほしいか	何をしたい？	投票 来街者アンケート	
★仮説6：歩行者広場の大きさ・形状	必要な大きさ・形状	来街者アンケート 振り返り会意見交換	

評価指標（調査結果）

○駅前でしたい活動	日常：イスやテーブルで飲食をして電車待ちを快適に過ごしたい（59%） 遊んだりおしゃべりして過ごしたい（41%） イベント：季節ごとのイベントを楽しみたい（81%） 屋外ビジョンでパブリックビューイングを楽しみたい（19%）
○歩行者広場の大きさ ・形状	・7割がちょうど良い広さとの回答（来場者アンケート） ・段差が危険、車の動線が気になり子供が心配 等の声も（同上） ・路上バスの通りがあり、少し危ないと感じた（出店者アンケート）

検証・分析

仮説5

- 「イス・テーブルで飲食しながら電車待ちをしたい」
- 「季節ごとのイベントを楽しみたい」という回答が多く得られた

仮説6

- 今回の歩行者広場はちょうどよい大きさという回答が多く得られた
- 安全対策・バリアフリー等の課題も確認できた

10. 仮説に対する検証

仮説（確認したいこと）

テーマC：イベントの継続実施	評価指標	計測方法	備考
仮説7：来街者が喜んでくれたか	よかった？ 空間の良かった点	来街者アンケート 出店者・近隣店舗アンケート	
★仮説8：今後の出店・関与の可能性 のあそびlabo活動の認知度 「シェアスペースでチャレンジショップ」	今後出店したい？ 出店料等条件は？ 企画段階関与は？	来街者アンケート 出店者アンケート 近隣店舗アンケート	のあそびサ ポーター へ？

評価指標（調査結果）

○良かった点など	・今回のよう広場が日常的にあると過ごしやすいし来やすい ・ゆっくり座れるスペース、雰囲気や規模感（安心して見渡せる） ・子供が体験できるものがあり楽しかった
○今後の出店・企画等 関与の可能性	・次回も出店を望む者が大多数 ・イベントを運営・企画したいと思う方もいた（出店者アンケート）

検証・分析

仮説7

- 「今回のよう歩行者広場が日常的にあってほしい」「定期的に駅前でイベントがあってほしい」という意見が得られるなど
イベント・社会実験に対して大多数が好意的であった

仮説8

- マルシェ出店者から、次回も出店を望む声が多くて
・イベントを運営・企画したいという方もいた

10. 仮説に対する検証

仮説（確認したいこと）

テーマC：イベントの継続実施	評価指標	計測方法	備考
仮説9：運営方法の改善点	次回に向けた課題	振り返り会意見交換	スタッフアンケート

評価指標（調査結果）

○次回に向けた課題	<ul style="list-style-type: none">◆アンケート（来場者・出店者）<ul style="list-style-type: none">・出店者駐車場が遠かった・イルミネーションなどの飾り、ライティング・風対策（火器利用と思料）・段差があり危険・もう少しスペースを作り、屋台が増えると楽しく長く居れる・車の動線が気になり、子供が心配・前よりのあそび体験が少ない◆従事者アンケート・振り返り意見交換<ul style="list-style-type: none">・来場者数の把握方法の検討・告知を早くする、広報がもっと必要・一般の方やボランティアの方が活動に参加してもらえたなら・イベント直前に慌てて手続きをした・周辺事業者や駅前に興味がある方を巻き込んで開催できたら・広場で期待されていることを次回の社会実験でやる
-----------	---



検証・分析

仮説9

- 設備不足等の課題が確認された
- より多くの人に関わってもらうことで、円滑な運営とイベントの充実に繋げていきたい

11. 駅前広場社会実験 知りたかったこと・分かったこと

知りたかったこと	分かったこと
テーマA：交通への影響	
■周辺の道路交通への影響はないか? (混雑が無いか)	車両の混雑はなく、利用者からのクレームもなかった。
■一般車送迎スペースの台数は十分あるか?	臨時送迎スペースの確保台数は十分だった。
■一般車乗降エリアの位置は適切か?	利用者からのクレーム（位置が遠い等）はなかった。
テーマB：にぎわいの創出	
■来街者の滞在時間の増加	普段駅を利用する人の9割が滞在時間が増加したと回答が得られた。
■広場空間の使われ方に変化が生まれるか? ex) テイクアウトをテーブル・イスで飲食 芝生広場で子どもが遊ぶ	イス・テーブル・丸太を設置することで、駅前での活動数が増えた。（飲食、おしゃべり、丸太を使って遊ぶ等）
■駅前広場で今後どんなことがしたいか?	「イス・テーブルで飲食しながら電車待ちをしたい」「季節ごとのイベントを楽しみたい」という回答が多かった。
■今回の歩行者広場の大きさ・形は適切か?	来場者の7割がちょうどよい大きさという回答が得られた。
テーマC：イベントの継続実施	
■来街者が喜んでくれていたか?	「今回のような歩行者広場が日常的にあってほしい」「定期的に駅前でイベントがあってほしい」という意見が得られた。
■駅前での今後の出店・関与の可能性があるか? ex) シェアスペースでチャレンジショップ	マルシェ出店者から、次回も出店を望む声が多く、イベントを運営・企画したいという方もいた。
■運営方法の改善点があるか?	設備不足等のハード面の課題が挙げられた。 準備段階で時間を要した点、マンパワーが必要な点の洗出しができた。

12.駅前広場社会実験 まとめ

荒尾駅前社会実験

活動の創出

○わかったこと

- ・マルシェで普段は駅を利用しない方も来てくださいました
- ・マルシェ以外の使い方にも期待
- ・お店以外の活動にも（企画・運営など）参加したいとの声

◎これから

色々な人のアイデアを聞いてみる。話し合う場？

引き続き、社会実験を通じて、色々な使い方を検証してみる

活動の仕組みづくり

○わかったこと

- ・来場者、出店者ともに今後もイベントの開催を希望する方が多かった
- ・準備の進め方、運営の人手などには改善の余地

◎これから

今回、事務局が行った準備・手続き・運営などを振り返り、効率化に挑戦

取り組みをのぞびサポートなどへ情報共有し、人手の層を厚く

施設整備

○わかったこと

- ・駅前広場の形状・大きさは、今回のイベントにちょうどよかったとの感想
- ・市民が望む活動・コンテンツを踏まえた必要な整備を考える要素が得られた

◎これから

駅前広場再整備に向けた基本計画検討の参考とする

荒尾駅前の将来像

市民による
自発的な
活動が起こる

活動の創出
及び活動自体
が持続的
となる

活動の実現
に適した
フィールド
がある